

発表者の利益相反自己申告書

演題番号	
演題名	

誓約:私は、自己の利益相反に関する状況が、様式第1-2のとおりであることを誓約します。なお、法令上又は社会的要請があった場合には、本法人が本申告書の内容を開示又は公開することを承諾します。

申告日 (西暦) 年 月 日

発表者(署名又は記名押印) _____ 印

発表者の配偶者、一親等内の親族又は収入・財産を共にする者の氏名

(これらの方々の自署は不要です。)

発表者(共同演者を含む)は、演者ごとに、発表内容に係る営利団体等との利益相反状態にあるすべての関係を、抄録提出日の前年から過去3年分及び抄録提出日まで(注)すべて、利益相反自己申告書(様式第1-2)に記載してください。

注:「抄録提出日の前年から過去3年分及び抄録提出日まで」の例

2024年12月1日が抄録提出日の場合は、2021年1月1日～2024年12月1日。

発表者の利益相反自己申告書

(抄録提出日の前年から過去3年分及び抄録提出日まで記載してください)

署名又は記名押印 _____ 印

※「あり・なし」のどちらかを丸で囲み、「あり」の場合は営利団体等の名称を記載してください。

項目	基準金額等	該当の状況	該当がある場合、 営利団体等名称
1. 役員、顧問職、社員等の報酬額	100 万円以上	あり・なし	
2. 株式の利益、保有	利益 100 万円以上/ 全株式の 5%以上	あり・なし	
3. 特許権使用料	100 万円以上	あり・なし	
4. 講演料(交通費、食費、宿泊費等を含む)	50 万円以上	あり・なし	
5. パンフレット等の執筆に対する原稿料	50 万円以上	あり・なし	
6. 医学系研究費(共同研究・受託研究・治験等)	100 万円以上	あり・なし	
7. 奨学(奨励) 寄附金	100 万円以上	あり・なし	
8. 営利団体等が提供する寄附講座に所属	所属の有無	あり・なし	
9. 臨床研究とは直接関係ない旅行、贈答品等	5 万円以上	あり・なし	
10. その他研究の内容に影響を及ぼしうるもの	資金提供、装具、機器等の貸与や提供等	あり・なし	

申告者の配偶者、一親等内の親族又は収入・財産を共にする者の申告書

項目	基準金額等	該当の状況	該当がある場合、 営利団体等名称
1. 役員、顧問職、社員等の報酬額	100 万円以上	あり・なし	
2. 株式の利益、保有	利益 100 万円以上/ 全株式の 5%以上	あり・なし	
3. 特許権使用料	100 万円以上	あり・なし	